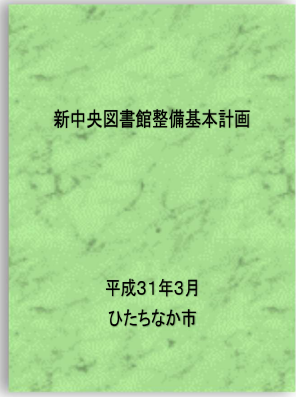


新中央図書館設計の基本方針

[基本方針]

1. 平成31年3月に策定した「新中央図書館整備基本計画」及び追補版の内容を十分踏まえた上で設計を行うことを基本とする。
2. さらに、「図書館整備で目指す3つの柱」により、図書館が立地する場所の特性を最大限活かしつつ、ひたちなか市らしさを感じられる図書館整備を目指していく。
3. また、その他留意すべき事項として、「使いやすさ」や「コスト」、「維持管理」や「環境」にも配慮した設計を行っていく。



新中央図書館整備基本計画

平成31年3月
ひたちなか市

まなび

現在及び将来の
市民一人ひとりの
読書・学習を支援

日々の疑問の解決から
生涯を通じた
主体的な取り組みへ

みのり

整備理念 まなび・みのり・あそびで
まちの未来を拓く図書館

未来へ

地域の「想い」「夢」を
実現するまちづくり・
ひとづくりに貢献

知的好奇心を刺激し、
子どものアソビをマナビに

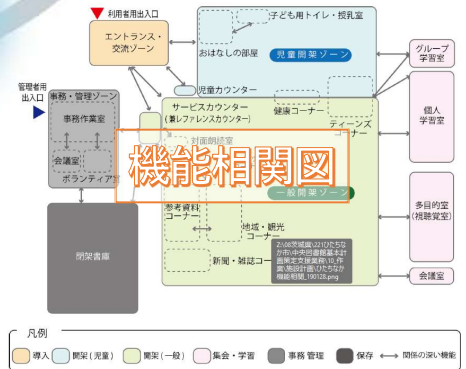
あそび

区分	種別	種別名	種別説明	種別	種別説明
図書	図書	エントランス・交流	エントランス・交流ゾーン	エントランス・交流ゾーン	エントランス・交流ゾーン
		読書・学習	読書・学習ゾーン	読書・学習ゾーン	読書・学習ゾーン
児童	児童	児童図書	児童図書ゾーン	児童図書ゾーン	児童図書ゾーン
		児童図書	児童図書ゾーン	児童図書ゾーン	児童図書ゾーン
多目的	多目的	多目的室	多目的室	多目的室	多目的室
		多目的室	多目的室	多目的室	多目的室
その他	その他	その他	その他	その他	その他
		その他	その他	その他	その他

諸室の整備方針

サービス	サービス内容	必要図書
1. 読書・学習	1. 読書・学習の促進 2. 読書・学習の場の提供 3. 読書・学習の機会の提供	1. 児童図書 2. 児童図書 3. 児童図書
2. 児童図書	1. 児童図書の提供 2. 児童図書の場の提供 3. 児童図書の機会の提供	1. 児童図書 2. 児童図書 3. 児童図書
3. 多目的室	1. 多目的室の提供 2. 多目的室の場の提供 3. 多目的室の機会の提供	1. 多目的室 2. 多目的室 3. 多目的室

想定するサービスと必要図書



新中央図書館整備基本計画

図書館整備で目指す3つの柱

①公園内の豊かな緑に囲まれた、恵まれた環境・景観を活かした魅力的な図書館



②図書館利用が少ない世代(若者), 及び, 市の施策に掲げる世代(子育て世代やF1層)なども利用しやすい図書館

※UIJターン者は若者に含む

重点プロジェクト1

子育て世代に
選ばれる
まちづくり

- 生産年齢人口の増
- 子どもの数の増

重点プロジェクト2

F1層(20歳~)が
住みやすい
まちづくり

- 子育て層候補の増

重点プロジェクト3

UIJターン先
として選ばれる
まちづくり

- 持続可能な世代循環

※左図: 「ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画」における4つの重点プロジェクトから抜粋

③シビックプライドを高め、選ばれるまちを目指して... 図書館の整備を通じて、または、新しい図書館がシビックプライドの醸成に貢献

重点プロジェクト4

シビックプライド(市への「誇りや愛着、共感」)を
高めるまちづくり

- まちづくりに対する自分ごと化

※左図: 「ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画」における4つの重点プロジェクトから抜粋

その他設計で留意すべき事項

設計段階から、その後の建設、維持管理、運営までを考慮し、事業全体を見据えた設計を行うことが重要である。

その中で、設計業務を進めるにあたっては、特に下記の点に留意する。

使いやすい施設設計

1. だれもが利用しやすい施設設計

子どもや高齢者、障がい者など、全ての人が利用しやすい施設とする。

2. 運営しやすい施設設計

運営面でも使い勝手が良く、効率的な運営が可能となる施設とする。

事業コストへの配慮

1. トータルコストの縮減

整備コスト縮減は勿論のこと、供用開始から施設解体までの維持管理コストも含めたトータルコストの縮減を図る。

2. 事業費高騰リスクの低減

物価高騰局面が続くなか、設計段階から整備コスト高騰に対しての十分な配慮と可能な対策を行う。

維持管理しやすい施設

耐久性に優れた部材や、長期間メンテナンスが不要である外壁等の使用、メンテナンス性の高い設備の導入など維持管理にも配慮する。

環境や SDGs⑦への配慮

環境に配慮した施設・設備の導入を目指すとともに、『ZEB-ready』の認証取得を目指す。

※SDGs7番目のロゴ→

